



ファミリー層の多い春日井市で60年以上運営している自動車学校の新しい木造校舎。ガルバリウム鋼板を用いた外観からは木造の気配を感じさせず、落ち着いた印象となっている。1階には2台分の車寄せスペースを確保し、その奥のエントランスを入ると待合ホールがあり、2階には教室や自習コーナーなどが設けられている。

経済性やSDGsへの貢献からツーバイフォーを選択

# CLTが現しで採用された自動車学校の木造校舎

2023年11月に愛知県春日井市に完成した本施設は、地元で60年以上の歴史をもつ自動車学校の建て替えによる新しい木造校舎です。東海エリアで輸入住宅の設計・施工実績が豊富な住宅会社と、同社で家を建てたオーナーとの縁により実現した建物です。競合他社の非木造の提案と比較し、ツーバイフォー工法は低コストで減価償却が早く、気密・断熱性能の高さで光熱費を削減できる経済性や、木は吸収した炭素を貯蔵することからSDGsに貢献できるという環境面など、木造ならではの強みや設計提案の良さが選択の決め手となったそうです。

1階には待合ホールや講習室、会議室などが入り、2階には大小の教室、自習コーナーなどが設けられています。構造材として約250㎡の屋根全面には5層(厚さ150mm)の、2

階床に7層(厚さ210mm)のCLTが使用されています。CLTは国産ヒノキ材が用いられて表面に節が少なく見た目の良い材が選別されて、待合ホールや自習コーナーに現しで用いられ、木造の温もりがインテリアとしても表現されています。「CLTを使ったツーバイフォー建築は、商業施設などで木造で広々とした空間を求める事業者の方にも広く評価していただいています」と住宅会社の代表は語ります。

近くに空港があるため、日中は上空で飛行機が数多く行き交いますが、「室内にいととその音が聞こえないくらい静かです」と職員の方から好評を得ています。新校舎を使う教習生からは「気持ちが落ち着く」「温度、湿度がちょうどよく過ごしやすい」といった声が寄せられ、木造の快適さが体感として伝わっているようです。



CLTを現しにし、化粧梁と組み合わせた自習コーナー。天井高は3.25m確保されている。



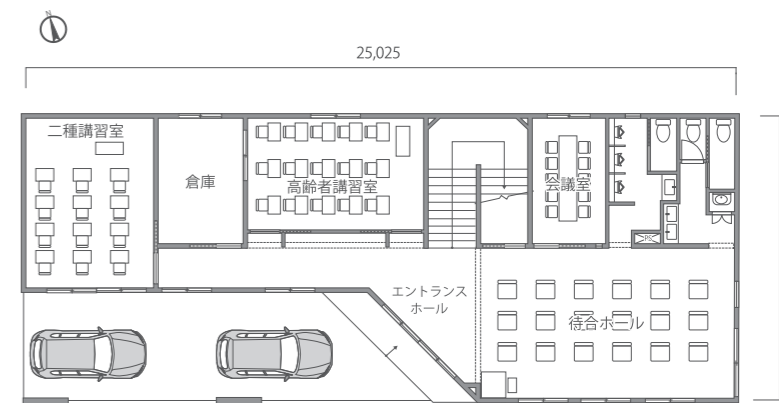
約40名収容できる約7m×10mの教室。



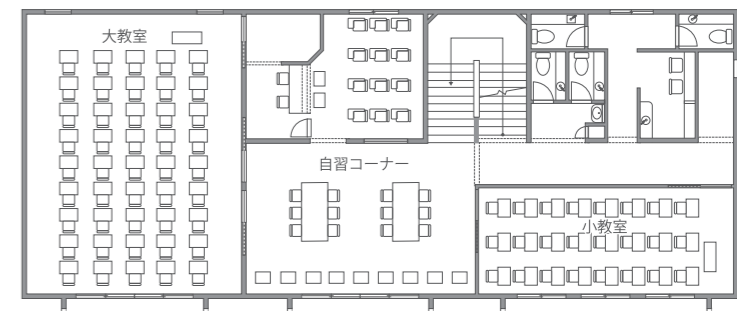
窓を連続させた小教室。明るいビタミンカラーの内装が教習生に好評。



広々とした木質感豊かな待合ホール。天井にはCLTと化粧梁が組み合わされている。



1F 平面図



2F 平面図



〈構造体の写真〉左上：2階の大教室。2階床版と屋根版にCLTが使われている。左下：現しとなる部分には節が少くない国産ヒノキ製造のCLTを採用した。右：2023年7月に開催した構造現場見学会は多くの人々が来場して話題となった。

## DATA - 昭和自動車学校

所在地：愛知県春日井市	事業主：(株)昭和自動車学校
用途：自動車教習所	設計・施工：フロンティアホームズ名古屋(株)
構造：枠組壁工法【準耐火建築物】	構造材供給・建方工事：(株)サイプレス・スナダヤ
階数：2階建て	ヒノキゾク(株)
敷地面積：11,523.78㎡	工期：2023年4月～11月
建築面積：250.51㎡	法規制：準工業地域(建設率60%、容積率200%)
延床面積：446.90㎡	